# **Vol.13**

2020.7.31

# 農業委員会だより







農業委員会 新体制がスタート!

任期満了に伴う改選により、7月20日に農業委員19人が 任命され、また、同日開催の臨時総会において農地利用最 適化推進委員18人を決定しました。

委員の任期は、令和5年7月19日までです。農地の利用調整、遊休農地の発生防止など、地域農業の発展のための活動に取り組みます。

# 農業委員・農地利用最適化推進委員紹介〈

農業委員・農地利用最適化推進委員に就任した皆さんを紹介します。

会長には齋藤清美さん(須川・再任)、会長職務 代理者には松澤一久さん(田中・再任)が選出され ました。

#### 農業委員



齊藤 健一郎



片山 敏隆



大島博



恩田正平



園田 岳彦



松澤一久



米原 文明



荻野 輝道



鷲澤茂雄



伊藤 眞一



福田 幸生



井上 二郎



齋藤 登



稲葉淳一



齋藤 清美



川合次夫



川内 敏夫



松澤隆一



樋口 佐登子

農地の貸し借りや、農地で困っていることがありましたら、農業委員・農地利用最適化推進委員へご相談ください。

任期/令和2年7月20日~令和5年7月19日

#### 農地利用 最適化推進委員



伊藤力



加藤保



渡邉 甚一郎



木嶋 昇



相澤厚夫



松木秀夫



猪又 則雄



伊井一夫



山岸寛幸



猪又 正巳



加藤政人



小島隆



山本 民男



田中清



日馬 吉雄



山﨑順一



草間芳隆



白澤実





### 会長就任にあたり 齋藤 清美

このたび、委員の皆様からご推挙をいただき、引 き続き会長を務めさせていただくことになりました。 農業者の皆様のご期待に添うべく、鋭意努力してま いります。

さて、任期満了に伴う改選により農業委員19人、 農地利用最適化推進委員18人が就任し、新体制が スタートしました。

農地集積・集約、遊休農地対策等の取組みが今 まで以上に求められておりますが、加えて、慢性的な 後継者不足が続く状況の中、担い手の確保、育成に も努めてまいりたいと考えております。

最後に、会長として公平公正な委員会運営に努め ることはもちろん、農業者の皆様、農業委員及び推 進委員の皆様とともに、活力ある地域農業の実現を 目指して前に進んでまいりたいと考えておりますので、 皆様のご支援ご協力をお願い申し上げまして就任の ご挨拶といたします。

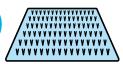
#### ◇◇◇◇◇◇◇◇ 農業委員・農地利用最適化推進委員の担当区域の一覧 ◇◇◇◇◇◇◇

地区	農業委員	推進委員	担当区域
下早川	齊藤 健一郎	伊 藤 力	東海、田屋、道明、堀切、西谷内、上覚、四ツ屋、東川原、新町
	片山 敏隆	加藤 保	清水山、日光寺、滝川原、上出、下出、谷根、五十原、西塚、東塚、見滝
上早川	大島 博	渡邉 甚一郎	越、宮平、中野、中林、土塩、坪野、猿倉、吹原
	恩田 正平	木嶋 昇	大平、土倉、中川原新田、砂場、北山、角間
浦本·大和川	園田 岳彦	相澤 厚夫	間脇、中浜、中宿、梶屋敷、田伏、大和川、竹ヶ花、厚田
西海	松澤 一久	松木 秀夫	水保、羽生、平牛、成沢、真光寺
		猪又 則雄	御前山、市野々、来海沢、粟倉、真木、釜沢、道平、川島、田中
糸魚川	米原 文明	伊井 一夫	押上、南押上、寺町、東寺町、南寺町、京ヶ峰、蓮台寺、一の宮、清崎、 中央、大町、本町、新鉄、横町、寺島、南寺島、上刈
大 野	荻野 輝道	山岸 寛幸	大野
小滝·今井	鷲澤 茂雄	猪又 正巳	小滝、山之坊、大所、岩木、頭山、西中、中谷内、大谷内、西川原、山本
根知	伊藤 眞一	加藤 政人	根小屋、東中、上野、栗山、和泉、大工屋敷、上野山、蒲池、西山、余所、 杉之当、上横、山口、別所、大久保、梶山、山寺、大神堂、上沢
磯部	福田 幸生	小島 隆	筒石、徳合、仙納、大洞、藤崎、百川、空熊新田
能生·能生谷	井上 二郎	草間 芳隆	能生、能生小泊、栄、桜木、大王
		山本 民男	指塩、柱道、大道寺、鷲尾、中野口
	齋 藤 登	田中 清	大平寺、寺山、桂、鶉石、小見、平、島道、大沢
	稲葉 淳一	日馬 吉雄	藤後、槙、溝尾、高倉、下倉
	齋藤 清美	山﨑 順一	物出、柵口、西飛山、田麦平、崩、須川、川詰、東谷内
木 浦	川合 次夫	草間 芳隆	木浦、鬼舞、鬼伏
青海	川内 敏夫	白澤 実	須沢、今村新田、田海、寺地、青海、橋立
	松澤 隆一		歌、外波、市振、上路
中立的な立場の委員	樋口 佐登子		農業分野以外の者(農業委員会の所掌に属する事項に利害関係を有しない者)

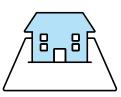
## 農地を農地以外に する場合には 手続きが必要です

農地を農地以外にすることを「農地転用」といい、農地転用する場合は、農地法の許可が必要です。









#### ☆農地を農地以外にする

- ■住宅を建てる
- ■農業用施設を建てる
- ■資材置場にする

など

#### ☆転用許可の方法は2種類あります

1 農地法第4条

農地の所有者自らが、その農地を転用する場合

2 農地法第5条

農地の所有者から農地を買う又は借りてその農地を 転用する場合

☆底面の全部がコンクリートで覆われた農業用 施設の取り扱い

平成30年11月16日改正農地法施行により、農業用ハウス等の底地を全面コンクリート張りする場合も、一定の要件を満たす施設は、農地転用に該当しなくなりました。

ただし、事前に農業委員会への届け出が必要です。



#### 利用状況調査にご協力ください

農業委員会では毎年、遊休農地の実態把握や 農地の違反転用など、農地の利用状況調査(農地 パトロール)を実施しています。

今年度は8月に実施いたします。

農業委員・推進委員が市内の農地を見回るため、 農地に立ち入る場合もありますので、ご理解とご協力をお願いします。



農業の「いま」と「これから」をタイムリーにお届けします

# 全国農業 新聞 AGRICULTURAL NEWS

●月4回発行(毎週金曜日)

●購読料/月700円

申込/農業委員または農業委員会事務局へ

農業で働く方のライフステージに寄り添う年金制度です。
農業者年金に加入しませんか?
保険料の見直し・脱退や再加入可能!
加入対象 60歳未満の国民年金第1号被保険者年間60日以上農業に従事している方

糸魚川市農業委員会事務局 糸魚川市-の宮1-2-5 (市庁舎内) TEL.025-552-1511 FAX.025-552-7372